（別記）

**○年度○○地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン**

**１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題**

|  |
| --- |
| **２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力**  **強化に向けた産地としての取組方針・目標** |

|  |  |
| --- | --- |
| |  | | --- | | ☑　農業者の所得向上や地域における水田農業の発展等を図るため、どのような方針・目標で取り  組んでいくのか明記してください。 |   （記載時は削除）  **【　検討に当たっての主な視点　】**  ○　適地適作の推進  　　・　地域の実情（気候や圃場条件等）に応じた作物選択　等  ○　収益性・付加価値の向上  　・　高収益作物への計画的な転換方針  　　　（水田農業高収益化推進プロジェクトチームの設置・検討状況、今後の推進計画の策定方針等）  　・　転換作物の付加価値の向上に向けた方針　　　　　　等  　　　（地場産業との連携、有利販売に向けた販売戦略、ブランド化の取組方針等）  ○　新たな市場・需要の開拓  　・　輸出等の新たな市場の開拓に向けた方針　　　　　　等  ○　生産・流通コストの低減  　　・　転換作物の生産性の向上に向けた方針　　　　　　　等  　　　（低コスト生産技術の導入・普及、農地の集積・集約化の方針、作付けの団地化の取組方針等） |

**３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （記載時は削除）   |  | | --- | | ☑　作物の需給動向、担い手の育成、農地の集積・集約化、基盤整備の状況など、地域の実情を総合的に分析し、作付け作物や管理方法等を含め、産地として将来にわたって水田をどのように有効利用していくのか明記してください。 |   **【　検討に当たっての主な視点　】**  ○　地域の実情に応じた農地の在り方  　・　担い手・労働力の状況、転換作物の定着状況等に照らして、水田のまま維持し続けるのか、畑地や樹園地  等にするか　 等  ○　地域の実情に応じた作物・管理方法等の選択  ・　輪作体系等への労働生産性が高い子実用とうもろこし等の導入や、省力的な管理が可能な作物等の導入 等  ○　地域におけるブロックローテーション体系の構築  ・　地域における水稲作付水田と転換作物作付水田をどのようにローテーションさせるのか　等   |  | | --- | | ☑　水田の利用状況（作付体系）を点検しつつ、令和６～８年度における畑地化の道筋等を明記してください。 |   ○　水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針（必須）  ・　水稲（水張り）を組み入れない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田がないか、今後も水稲作に活用される見込みがないか等の点検方針・点検状況等を明記。  ・　点検結果を踏まえ、畑地化支援を活用した畑地化や地域におけるブロックローテーション体系の構築への道  筋等を明記。  　・産地づくりに向けた体制構築支援を活用する場合はその取組内容を記載。 |

**４　作物ごとの取組方針等**

（１）主食用米

（２）備蓄米

（３）非主食用米

　　ア　飼料用米

　　イ　米粉用米

　　ウ　新市場開拓用米

　　エ　WCS用稲

　　オ　加工用米

（４）麦、大豆、飼料作物

（５）そば、なたね

（６）地力増進作物

（７）高収益作物

**５　作物ごとの作付予定面積等**　～　**８　産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

　※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。